



在占星师爱小姐算命先生的回忆



烏越敦司 atushi torigoe

在占星师爱小姐算命先生的回忆

前29年年前将从现在的东西被要求评价遇见爱小姐占星家。当时、私は熊本にいて福岡に行った時にある占い師を見て、その人を通して福岡市の天神コアビルで占い師のチャリティに行ってみた。当時、我看看，当我去福岡算命先生在熊本，我去了通过人福岡市天神核心构建的慈善算命先生。

その時に東京から来ていたのがマドモアゼル愛と紅有里だった。都来自东京在当时是小姐爱与红蚂蚁。もう一人は福岡市の占い師だったと思う。我认为另一次是福岡市の算命先生。マドモアゼル愛と紅有里にみてもらった。我已经看到了愛和红色尤里小姐。紅有里は今はずでにこの世にいない。贝尼·阿里现在已经没有在这个世界上。紅有里が言った事は、もう忘れてしまった。紅阿里说，我已经忘记了。さて、マドモアゼル愛。好吧，小姐的爱情。その頃、炎愛という名前でどこかに書いていたのを見たことがあった。当時、已经看到了书面的地方命名的火焰爱情。実際に見ると今の顔とは少し違って、もちろん若いし、髪の毛もまだ普通にあった。有一点从实际看起来不同，现在的脸，当然要年轻的，头发也是在仍然普遍。チャリティ箱に五百円入れて、占いの始まり。把500日元给慈善机构中，算命的开头。

マドモアゼル愛は、愛小姐、

「あなたはふつうの職業ではだめですね。」 “那你是普通的职业也没用。”

とかいう事を言った。我说的是什么。

「今は何をされていますか。」 “难道我们一直在做正确的。”

「陸上自衛隊です。」 “这是陆上自卫队部队。”

「うん、それも普通じゃないな・・・。」 “是的，这也是usually'm没有做.....”

「前は壁紙の会社で働いていたんですけど。」 “我以前，我在公司的墙纸的工作。”

「それは、だめです。」 “这是没有用的。”

とマドモアゼル愛は言うのと首を横に振った。和爱小姐摇摇头说。

「何か金管楽器なんかやるといいですよ。」 “这是很好的做一些事情黄铜。”

とアドバイスしてくれた。我建议。

「とにかく職業はふつうではだめです。」 “反正职业是无用普通的。”

とか何とかも。甚至或什么的。それから私は普通のサラリーマンをやった事がない。再有就是没有的事我已经做了普通上班族。朝、通勤電車に乗って会社に行ったのも合計で半年にも満たないだろう。清晨，不会少于六个月总也到了公司坐上通勤列车。そういう意味ではマドモアゼル愛の占いは当たった。愛打小姐的算命在这个意义上。もしかして、そのアドバイスを実行したのかも、とも思えるが、やはり自衛隊をやめても普通といえる職業にはつかなかったので占星術は当たるのだ。您的意思是，也许你跑的建议，貌似，但他命中占星术我没有坚持职业，它可以是平时甚至还在停止自卫队。まあ、楽器は何もませんでした。那么，仪器没有做任何事情。だからアドバイスは実行していないわけだが。因此建议，但我的意思是没有运行。

それから十二年くらいたって、あるところにあつたマドモアゼル愛の通信鑑定に 然后，身高约十二年，姑娘的爱的交流评比，这是在某个地方 申し込んでみた。试着报了名。郵便で鑑定は送られてきたが、その中に 鉴定通过电子邮件已发送，但在

「あなたには億万長者の星があります。」 “还有就是你对百万富翁的明星。”

と書いてあつた。向其写入。その時も、現存も億万長者という状態には程遠いのだが、私も少しは占星術はわかるので、その占断はわかります。也是在那个时间。但它是远离的状态，目前还亿万富翁，因为我也有点占星术可以看出，Uranaidan会发现。が、時期は特定してなかったし、私もいつかはわからない。但是，它没有确定的时候，我甚至不知道总有一天。

在占星师爱小姐算命先生的回忆

<http://p.booklog.jp/book/106586>

著者：鳥越敦司 atushi torigoe

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/dontanine/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/106586>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/106586>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ